

そんなとき、日本仕事百貨という求人サイトで、三重県尾鷲市の定住移住コンシェルジュという仕事を見つける。それが、地域おこし協力隊とも知らずに、エントリー。令和元年、尾鷲市に移住して5年目。現在は、地域おこし協力隊着任中に設立したNPO法人おわせ暮らしサポートセンターの理事長として、空き家の再生と利活用、定住移住促進事業に取り組んでいる。

<注意事項等>

■前泊及び後泊について

- ・ 宿泊については任意です。各自ご手配をお願いいたします。

以上

デアを出し合いながら模索していく

③アイデアを実現する人材の確保：who

→尾鷲市に木島さんが来てくれたように、アイデアを共に実践してくれる人材確保の方法を検討する

④アイデアを実践し続けるためのマネジメント：how

→木島さんが「空き家バンク」を続けるために組織を立ち上げたように、プロジェクトを自立的に継続させるマネジメントのあり方や必要な要素を考える

※伊東さん&木島さんが適宜参加者にアドバイス

5. クロージング 16:30~17:30

- ・各自治体の空き家プロジェクトを全体に共有
- ・名刺交換等

<※任意参加プログラム>

■10月9日(水) 18:30~21:00

- ・懇親会

講師及び参加者同士の交流を図ることにより、互いの関係性を深め横のつながりを育む機会とします。

<講師紹介>

- ・伊東将志 夢古道おわせ 支配人

三重県尾鷲市生まれ、育ち。尾鷲市から一步も外に出ることなく純粹培養にて45才となる。とにかく生まれ育った尾鷲が好き。転職がない仕事をと就職したのが商工会議所。仕事でもプライベートでも「いわゆる町おこし」の日々をおくる。経営支援の毎日から熊野古道の世界遺産登録をきっかけに、まちづくり会社の立上げ、お風呂とレストランの運営を行うことに。大学生の長期インターン受入れ、日本初の会議所型長期実践型インターンシップの仕組みづくり、地域おこし協力隊の中間支援などを行う。

現在は株式会社熊野古道おわせで夢古道おわせの支配人。石を投げれば親戚か知合いに当たるような小さな町の未来のための事業に日々取り組む傍ら西に東に講演等訪れることも多く、旅とスナックをこよなく愛する。

- ・木島恵子 NPO法人おわせ暮らしサポートセンター 理事長

埼玉県出身、海にも里山にも縁のない環境で育ったことがきっかけで、気がつけば大の田舎好きに。家も家具も食器も古いものが好き。山梨県の大学に進学し就職したが、結婚を機に東京暮らし。それでも田舎暮らしをあきらめきれず二地域居住を目指し、移住先を探し旅する週末。

1. 事例共有：伊東将志さん 11:00~12:00

人口約 18,000 名の三重県尾鷲市で「すべては地域のために」というミッションを掲げるまちづくり会社「熊野古道おわせ」。その中心人物は、夢古道おわせ支配人の伊東さんです。尾鷲市で生まれ育った伊東さんは、「地域長期型インターンシップ」「移住定住促進」「夢古道おわせ運営」などを通じて、尾鷲に住む人材と市外に住む人材が地域課題解決に取り組める環境づくりを行ってきました。

今回は、伊東さんが尾鷲市で取り組んできた「地域内外の人材の挑戦を生む仕組みづくり」と、「地域課題を起点にプロジェクトを生み出すコツ」についてお話いただきます。後述の木島さんの事例を生み出す土壌づくりについて、伺いたいと考えています。

2. 事例共有：木島恵子さん 13:00~13:45

尾鷲市でNPO法人おわせ暮らしサポートセンターを運営する木島さん。空き家バンクの対応や、移住に関する相談や移住後の暮らしに関する相談対応を、行政と地域おこし協力隊と連携しながら対応しています。

そんな木島さんも元々は尾鷲市の地域おこし協力隊。登録 0 軒から登録 200 軒の空き家バンクを作り出し、そうした 3 年間の活動の経験から組織を立ち上げました。木島さんの空き家バンクの活動、組織立ち上げの経緯、組織を自立的に運営するための資金調達や行政等と連携した運営体制など、空き家バンクを軸とした事業のあり方について、木島さんの実践を踏まえてお話いただきます。

3. 伊東さん&木島さんのへの質疑応答 13:45~14:30

- ・事例共有を踏まえ、それぞれのゲストに聞きたいことをグループワークで洗い出し、各グループから質問をゲストに投げかける
- ・各グループからの質問に対し、伊東さん&木島さんが全体へ回答する

4. 地域プロジェクトの設計WS 14:30~16:30

伊東さんが重要視する「プロジェクト設計の考え方」を学ぶためのワークショップ。地域の「空き家に関する課題」をテーマに各自治体がいくつかのグループに分かれ、それぞれの地域プロジェクトを検討していく。

①地域の課題を正しく見極める：why

→今回は「空き家」をテーマに絞り、自地域の課題を掘り下げ、課題の原因を探っていく。

②課題を解決するアイデア出し：what

→「自分が主体的に実践や参加したい魅力的なプロジェクト」を、グループ内でアイ

令和元年度 沖縄県移住・定住促進事業
中間支援機能拡大に向けた支援プログラム 第2回講義 要領

<目的>

移住促進のみならず、地域の活性化に向けて現在注目をされ、今後国の方針としても機能を強化する方向性にある「中間支援組織（機能）」について、その意義や役割を理解し地域内での活動内容共有に役立てていただくとともに、すでに全国および県内で立ち上がっている事例を学ぶことにより、自地域での中間支援組織立ち上げの参考にしていただく。

また、本プログラムを通じて県内の同様の立場の方たちとのネットワークをつなぐことで、今後情報提供や相互支援をしやすい状況を作るとともに、県外専門家と繋がることで、今後外部サポートを受けて組織立ち上げ・運営を進めるための基礎を作る。

<想定対象者>

- ・ 中間支援組織運営者、スタッフ（立ち上げ予定も可）
- ・ 地域活性化に関わる事業の責任者、担当者（立ち上げ予定も可）
- ・ 地方自治体職員
- ・ その他、講義内容に興味ある方はどなたでも参加可能です
※名前、所属、プログラムに参加したい理由をお聞かせください。

<日時>

10月9日（水） 10：30～18：00

場所：沖縄県立博物館・美術館 美術館講義室

（〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち3丁目1番1号）

※以下任意

- ・ 10月9日（水） 18:30～21:00 懇親会

<プログラム参加費用>

- ・ 講座受講は無料
- ・ 現地までの交通費、宿泊費、食事代等は自己負担

<プログラム内容>

■10月9日（水）

1. オープニング、アイスブレイク 10：30～11：00

- ・ 中間支援機能拡大に向けた支援プログラム 第1回講義ふりかえり
- ・ 参加者自己紹介&参加動機確認